病棟・外来

化学療法ワークシート＜HD-MTX/AraC療法＞

第　　コース

Ⅰ．基本情報

患者ID
@PATIENTID
患者氏名
@PATIENTNAME
患者生年月日　　年齢
@PATIENTBIRTH3　@PATIENTAGEFORMATTED

〈疾患名〉
☐中枢神経系悪性リンパ腫
告　知　☐あり　☐なし

HD-MTX/AraC療法プロトコール（every 3 weeks）

		day1	2	3	・・・	22
MTX(ﾒｿﾄﾚｷｾｰﾄ)	0.5g/m^2(bolus)	↓				next
MTX(ﾒｿﾄﾚｷｾｰﾄ)	3g/m^2(d.i.v)	↓				in→
Ara-C（ｷﾛｻｲﾄﾞ）	2g/m^2×2回/日		↓	↓		

〈前コースの化学療法開始日〉　年　月　日
〈前コースの投与量〉
メソトレキセート　mg　キロサイド　mg

Ⅱ．化学療法実施過程
＊投与日当日のチェック事項（記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

	薬剤名	規格		数量	day1	day2	day3	day4
					（　／　）	（　／　）	（　／　）	（　／　）
4:00	レボホリナート	25mg/V		12mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈注射側管：1分）							
9:30	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ点滴ﾊﾞｯｸﾞ	3mg/100mL	X	1B				
	（持続点滴側管：0.5時間）							
10:00	メソトレキセート	1000mg/40mL	X	（　　）V				
	メソトレキセート	200mg/8mL	X	（　　）V				
	メソトレキセート	50mg/V	X	（　　）V				
	生食	100mL	X	1B				
	（持続点滴側管：0.25時間）							
10:00	レボホリナート	25mg/V		12mg				
	生食	50mL	X	20mL				
	（静脈注射側管：1分）							
10:15	ダイアモックス	500mg	X	1V				
	生食	20mL	X	1A				
	（ 静注側管 ）							
10:15	メソトレキセート	1000mg/40mL	X	（　　）V				
	メソトレキセート	200mg/8mL	X	（　　）V				
	メソトレキセート	50mg/V	X	（　　）V				
	メイロン	20mL	X	2A				
	生食	500mL	X	1B				
	（持続点滴側管：3時間）							
10:15	ソル・メドロール	40mg	X	1V				
	生食	100mL	X	1B				
	（持続点滴側管：0.5時間）							
10:45	キロサイドN	1000mg/50mL	X	（　　）V				
	キロサイド	200mg/10mL	X	（　　）A				
	生食	250mL	X	1B				
	（持続点滴側管：1時間）							
11:45	生食	50mL	X	1B				
	（持続点滴側管：全開で　フラッシュ用）							
13:15	生食	50mL	X	1B				
	（持続点滴側管：全開で　フラッシュ用）							
16:00	レボホリナート	25mg/V		12mg				
	生食	50mL	X	20mL				
	（静脈注射側管：1分）							
22:00	レボホリナート	25mg/V		12mg				
	生食	50mL	X	20mL				
	（静脈注射側管：1分）							
22:15	ダイアモックス	500mg	X	1V				
	生食	20mL	X	1A				
	（ 静注側管 ）							
22:15	ソル・メドロール	40mg	X	1V				
	生食	100mL	X	1B				
	（持続点滴側管：0.5時間）							
22:45	キロサイドN	1000mg/50mL	X	（　　）V				
	キロサイド	200mg/10mL	X	（　　）A				
	生食	250mL	X	1B				
	（持続点滴側管：1時間）							
23:45	生食	50mL	X	1B				
	（持続点滴側管：全開で　フラッシュ用）							

レボホリナートの調製は、生食50mLのボトルから30mL生食をシリンジで抜き取り、残った生食でレボホリナート25mg1Vを溶解した後、必要量11mLを投与する。

Ⅲ．化学療法剤投与量算出

＜MTX・AraC投与量＞

身長（　　cm）　体重（　　Kg）
体表面積（　　m^2）

(bolus) MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）
= 500mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
(d.i.v) MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）
= 3000mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
Ara-C（キロサイド）投与量(1回量)（　　mg/body）
= 2000mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）

＜備考欄＞
・メインをソルデム3A1000mL+メイロン240mL/dayとし、側管から レジメン薬剤を投与（尿をpH7以上に維持。尿量確保。）
・本レジメンは4コース実施する。
・角結膜予防のため、AraC投与後、4回/日、リンデロン点眼する。
・G-CSFをDay6-12皮下注を行う。追加可。
・血小板が<3×104以下になったら、PC10を隔日輸注する。
・血球減少や好中球減少時の感染症については血液内科または薬局にコンサルトする。
・70～75歳以上の高齢者(GFR<60mL/min)は、MTX単独療法も検討。

主治医	薬剤師	薬剤師

2024/7/2

病棟・外来 化学療法ワークシート＜MTX大量療法＞ 第　　コース

Ⅰ．基本情報

患者ID
@PATIENTID
患者氏名
@PATIENTNAME
患者生年月日　　年齢
@PATIENTBIRTH3　@PATIENTAGEFORMATTED

〈疾患名〉
□悪性リンパ腫の中枢神経系への浸潤

告　知　□あり　□なし

MTX大量療法プロトコール(every 2 weeks)

	day1	・・・・・	day15
MTX(ﾒｿﾄﾚｷｾｰﾄ)　3.5g/m^2	↓		next→ in

〈前コースの化学療法開始日〉
年　　月　　日

〈前コースの投与量〉
メソトレキセート
nmg

Ⅱ．化学療法実施過程

＊投与日当日のチェック事項 （記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

	薬剤名	規格		数量	day1 ( )	day2 ( )	day3 ( )	day4 ( )
1:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
3:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン	20mL	X	2A				
	（持続点滴メイン：6時間）							
4:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
7:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
9:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン	20mL	X	2A				
	（持続点滴メイン：6時間）							
9:30	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ点滴ﾊﾞｯｸﾞ	3mg/100mL	X	1B				
	（持続点滴側管：0.5時間）							
10:00	ダイアモックス	500mg	X	0.5V				
	生食	20mL	X	1A				
	（ワンショット静注側管）							
10:00	メソトレキセート	1000mg/40mL	X	(　)V				
	メソトレキセート	200mg/8mL	X	(　)V				
	メソトレキセート	50mg/V	X	(　)V				
	メイロン	20mL	X	1A				
	生食	500mL	X	1B				
	（持続点滴側管：6時間）							
10:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
13:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	20mL		20mL				
	（静脈内注射側管）							
15:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン	20mL	X	2A				
	（持続点滴メイン：6時間）							
16:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
19:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
21:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン	20mL	X	2A				
	（持続点滴メイン：6時間）							
22:00	レボホリナート	25mg/V		7.5mg				
	生食	50mL		20mL				
	（静脈内注射側管：1分）							
22:00	ダイアモックス	500mg	X	0.5V				
	生食	20mL	X	1A				
	（ワンショット静注側管）							

レボホリナートの調製は、生食50mLのボトルから30mL生食をシリンジで抜き取り、残った生食でレボホリナート25mg1Vを溶解した後、必要量6.9mLを投与する。

Ⅲ．化学療法剤投与量算出

＜MTX投与量＞

□

身長（　　cm）　体重（　　Kg）
体表面積（　　m^2）

MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）

＝ 3,500mg/m^2 × 体表面積（　　m^2）×（　　%）

＜備考欄＞

・本レジメンは原則最大3コース行う。
・尿をpH7以上に維持。尿量確保。
・MTX血中濃度のチェック(48時間値必要)
・血中濃度に応じて、レボホリナートの投与量・投与間隔を変更する。
（MTX血中濃度危険限界値：48時間値　1X10^{-6}モル(1μM)）
・メソトレキセート200mg・1000mgを250mL以上使用する際には、薬剤を入れるために希釈の生食を適宜破棄してよい。

主治医	薬剤師	薬剤師

2024/7/2

病棟・外来

化学療法ワークシート＜R-MPV療法＞

第　　コース

Ⅰ．基本情報

患者ID
@PATIENTID
患者氏名
@PATIENTNAME
患者生年月日　　年齢
@PATIENTBIRTH3　@PATIENTAGEFORMATTED

＜疾患名＞
□ 脳悪性リンパ腫
告　知　□ あり　□ なし

R-MPV療法プロトコール（every 2 weeks）

	day1・2・・・・・8・・・・・・15	
Rituxan（リツキサン）375mg/m^2	↓	next
MTX（メソトレキセート）3500mg/m^2	↓	in→
VCR（オンコビン）1.4mg/m^2	↓	
PCZ（プロカルバジン）100mg/m^2/日	←→	

〈前コースの化学療法開始日〉　　年　　月　　日
〈前コースの投与量〉
リツキサン　mg　メソトレキセート　mg　オンコビン　mg　プロカルバジン　mg

Ⅱ．化学療法実施過程
＊投与日当日のチェック事項（記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

	薬剤名	規格		数量
1)	ボルタレン錠	25mg		2錠
	レスタミンコーワ錠	10mg		5錠
	（経口　リツキサン投与30分前）			
2)	生食	100mL	×	1B
	（ルート確保用）			
3)	リツキサン	500mg	X	(　　)V
	リツキサン	100mg	X	(　　)V
	生食	500mL	X	1B
	（持続点滴：投与速度注意）			
1:30	ソルデム3A	500mL	X	1B
	メイロン	20mL	X	4A
	（持続点滴メイン：8時間）			
4:00	レボホリナート	25mg/V		12mg
	生食	50mL	X	20mL
	（静脈内注射側管：1分）			
9:00	イメンドカプセルセット			1セット
	（内服：メソトレキセート投与1時間前）			
9:30	ソルデム3A	500mL	X	1B
	メイロン	20mL	X	4A
	（持続点滴メイン：8時間）			
9:30	パロノセトロン点滴バッグ	0.75mg/50mL	X	1B
	（持続点滴側管：0.5時間）			
10:00	ダイアモックス	500mg	X	1V
	生食	20mL	X	1A
	（ ワンショット静注側管 ）			
10:00	メソトレキセート	1000mg/40mL	X	(　　)V
	メソトレキセート	200mg/8mL	X	(　　)V
	メソトレキセート	50mg/V	X	(　　)V
	メイロン	20mL	X	2A
	生食	500mL	X	1B
	（持続点滴側管：2時間）			
10:00	レボホリナート	25mg/V		12mg
	生食	50mL	X	20mL
	（静脈内注射側管：1分）			
12:00	オンコビン	1mg/V	X	(　　)V
	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：10分）			
12:10	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：全開で　フラッシュ用）			
16:00	レボホリナート	25mg/V		12mg
	生食	50mL	X	20mL
	（静脈内注射側管：1分）			
17:30	ソルデム3A	500mL	X	1B
	メイロン	20mL	X	4A
	（持続点滴メイン：8時間）			
22:00	ダイアモックス	500mg	X	1V
	生食	20mL	X	1A
	（ ワンショット静注側管 ）			
22:00	レボホリナート	25mg/V		12mg
	生食	50mL	X	20mL
	（静脈内注射側管：1分）			

day1　day2　day3　day4　day5
(　　)　(　　)　(　　)　(　　)　(　　)

＝リツキサン投与速度注意＝
初回（治療第1回目）投与速度
0-1時間　25mg（mL）/時間
1-2時間　100mg（mL）/時間
2時間以降 200mg（mL）/時間
2回目以降　100mg（mL）/時間で 投与 開始可

125mg　80mg　80mg

レボホリナートの調製：
生食50mLのボトルから30mL生食を
シリンジで抜き取り、残った生食で

レボホリナート25mg1Vを溶解した後、
必要量11mLを投与する。

塩酸プロカルバジンCP50mg　×（　　CP）/日　　（分2～3で内服）
第2日～第8日（　　～　　）まで投薬　　※奇数コースのみ服用

Ⅲ．化学療法剤投与量算出

＜Rituxan・MTX・VCR・PCZ投与量＞
身長（　　cm）　体重（　　Kg）
体表面積（　　m^2）
Rituxan（リツキサン）投与量（　　mg/body）
=375mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）
= 3500mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
VCR（オンコビン）投与量（　　mg/body）
=1.4mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
PCZ（プロカルバジン）投与量（　　mg/body）
= 100mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）

＊Dr. が二重線の枠内を記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

＜備考欄＞
・尿をpH7以上に維持。尿量確保。
・本レジメンは原則最大5コース。PRの場合2コースまで追加可で、計7コースまで可
・リツキサンの投与速度に注意（上記参照）　BP<100で速度下げる。BP<90で一時STOP。
・オンコビンは2mg/dayが上限
・VCRは血管外漏出で壊死をおこす。
・G-CSF（ジーラスタ）をday9に皮下注行う。
・メソトレキセート200mg・1000mgで250mL以上使用する際には、薬剤を入れるために希釈の生食を適宜破棄してよい。

主治医	薬剤師	薬剤師

2024/7/2

病棟・外来

化学療法ワークシート＜(維持療法)テモゾロミド単独療法＞

第　　コース

Ⅰ. 基本情報

患者ID	@PATIENTID
生年月日	@PATIENTBIRTH3
患者氏名	@PATIENTNAME
性別	@PATIENTSEXN
年齢	@PATIENTAGEFORMATTED

(維持療法)テモゾロミド単独療法プロトコール(every 4 weeks)

day1・・・5・・・・・・・・・・・・・・ 29

Temozolomide(テモダール)　150 (or 200)mg/m² ←→ next in→

〈疾患名〉

□悪性神経膠腫

告　知　□あり　□なし

〈前コースの化学療法開始日〉　　年　　月　　日

〈前コースの投与量〉

テモダール

mg

Ⅱ. 化学療法実施過程

＊投与日当日のチェック事項 （記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

薬剤名	規格	数量	第1日目 ( )	第2日目 ( )	第3日目 ( )	第4日目 ( )	第5日目 ( )
1) 生食 (持続点滴メイン:ルート確保用)	100mL	×1B					
2) グラニセトロン点滴バッグ (持続点滴側管:0.5時間)	3mg/100mL	×1B					
3) テモダール	100mg/V	×(　　)V					
注射用水	100mL	X2B					
生食 (持続点滴側管:1.5時間)	250mL	X1B					
4) 生食 (持続点滴側管:全開で フラッシュ用)	50mL	×1B					

Ⅲ. 化学療法剤投与量算出

＜Temozolomide投与量＞

□前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)

身長(　　cm)　体重(　　Kg)

体表面積(　　m^2)

Temozolomide(テモダール)投与量(＿＿＿＿＿＿mg/body)

= 150(or 200)mg/m^2 × 体表面積(　　m^2) × (　　%)

＜備考欄＞

テモダール:

・第1コースの期間中、①好中球数の最低値が1,500/mm^3以上、②血小板数の最低値が100,000/mm^3以上、③脱毛、悪心、嘔吐を除く非血液学的な副作用の程度がGrade 2(中等度)以下の条件をすべて満たした場合に限り、第2コースで投与量を200mg/m^2/日に増量すること。
第2コース開始時に増量できなかった場合、それ以降のコースでは増量しないこと。

・本剤を減量する際は、50mg/m^2ずつ減量し、100mg/m^2/日未満に減量が必要となった場合は投与を中止すること。

主治医	薬剤師	薬剤師

H23. 7 薬局 改訂

病棟・外来

化学療法ワークシート＜(放射線併用)テモゾロミド療法＞

第　　コース

Ⅰ. 基本情報

患者ID	@PATIENTID
生年月日	@PATIENTBIRTH3
患者氏名	@PATIENTNAME
性別	@PATIENTSEXN
年齢	@PATIENTAGEFORMATTED

(放射線併用)テモゾロミド療法プロトコール(every　weeks)

day1・・・・・・・・・・・・7・8

Temozolomide(テモダール)　75mg/m^2　←→ next in→

〈疾患名〉

□悪性神経膠腫

告　知　□あり　□なし

〈前コースの化学療法開始日〉　　年　　月　　日

〈前コースの投与量〉

テモダール

mg

Ⅱ. 化学療法実施過程

＊投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する)

薬剤名	規格	数量	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7日目
1) 生食 (持続点滴メイン:ルート確保用)	100mL	×1B							
2) グラニセトロン点滴バッグ (持続点滴側管:0.5時間)	3mg/100mL	×1B							
3) テモダール	100mg/V	×(　　)V							
注射用水	100mL	X1B							
生食 (持続点滴側管:1.5時間)	250mL	X1B							
4) 生食 (持続点滴側管:全開で　フラッシュ用)	50mL	×1B							

Ⅲ. 化学療法剤投与量算出

＜Temozolomide投与量＞

□前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)

身長(　　cm)　体重(　　Kg)

体表面積(　　m^2)

Temozolomide(テモダール)投与量(＿＿＿＿＿＿mg/body)

= 75mg/m^2 × 体表面積(　　m^2) × (　　%)

＜備考欄＞

テモダール:

・放射線照射の中断により放射線治療期間が延長した場合、42日間連日点滴静注を最長49日まで延長することができる。

・本レジメンは、原則6コース(内服でのコース数も合わせて)実施され、その後4週間休薬する。

・本レジメンは、原則6コース(内服でのコース数も合わせて)実施された後、(維持療法)テモゾロミド単独療法に移行する。

主治医	薬剤師	薬剤師

H23. 7 薬局 改訂

病棟・外来

化学療法ワークシート＜HD-MTX/AraC療法＞

第　　コース

Ⅰ．基本情報

患者ID
@PATIENTID
患者氏名
@PATIENTNAME
患者生年月日　　年齢
@PATIENTBIRTH3　@PATIENTAGEFORMATTED

〈疾患名〉
□中枢神経系悪性リンパ腫
告　知　　□あり　　□なし

HD-MTX/AraC療法プロトコール（every 3 weeks）

		day1	2	3	・・・ 22
MTX(メソトレキセート)	0.5g/m^2(bolus)	↓			next
MTX(メソトレキセート)	3g/m^2(d.i.v)	↓			in→
Ara-C（キロサイド）	2g/m^2×2回/日		↓	↓	

〈前コースの化学療法開始日〉　　年　　月　　日
〈前コースの投与量〉
メソトレキセート　　mg　　キロサイド　　mg

Ⅱ．化学療法実施過程
＊投与日当日のチェック事項（記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

	薬剤名	規格		数量	day1 (/)	day2 (/)	day3 (/)	day4 (/)
4:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A				
	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:0.25時間)							
9:30	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ点滴ﾊﾞｯｸﾞ	3mg/100mL	X	1B				
	(持続点滴:0.5時間)							
10:00	メソトレキセート	1000mg/40mL	X ( )V					
	メソトレキセート	200mg/8mL	X ( )V					
	メソトレキセート	50mg/V	X ( )V					
	生食	100mL	X	1B				
	(持続点滴:0.25時間)							
10:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A				
	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:0.25時間)							
10:15	ダイアモックス	500mg	X	1V				
	生食	20mL	X	1A				
	(静注)							
10:15	メソトレキセート	1000mg/40mL	X ( )V					
	メソトレキセート	200mg/8mL	X ( )V					
	メソトレキセート	50mg/V	X ( )V					
	メイロン	20mL	X	2A				
	生食	500mL	X	1B				
	(持続点滴:3時間)							
10:15	ソル・メドロール	4(	X	1V				
	生食	100mL	X	1B				
	(持続点滴:0.5時間)							
10:45	キロサイドN	1000mg/50mL	X ( )V					
	キロサイド	200mg/10mL	X ( )A					
	生食	250mL	X	1B				
	(持続点滴:1時間)							
11:45	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:全開で フラッシュ用)							
13:15	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:全開で フラッシュ用)							
16:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A				
	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:0.25時間)							
22:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A				
	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:0.25時間)							
22:15	ダイアモックス	500mg	X	1V				
	生食	20mL	X	1A				
	(静注)							
22:15	ソル・メドロール	4(	X	1V				
	生食	100mL	X	1B				
	(持続点滴:0.5時間)							
22:45	キロサイドN	1000mg/50mL	X ( )V					
	キロサイド	200mg/10mL	X ( )A					
	生食	250mL	X	1B				
	(持続点滴:1時間)							
23:45	生食	50mL	X	1B				
	(持続点滴:全開で フラッシュ用)							

Ⅲ．化学療法剤投与量算出

＜MTX・AraC投与量＞

身長（　　cm）　体重（　　Kg）
体表面積（　　m^2）

(bolus) MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）
= 500mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
(d.i.v) MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）
= 3000mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
Ara-C（キロサイド）投与量(1回量)（　　mg/body）
= 2000mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）

＊Dr. が二重線の枠内を記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

＜備考欄＞
・メインをソルデム3A1000mL+メイロン240mL/dayとし、側管からレジメン薬剤を投与（尿をpH7以上に維持。尿量確保。）
・本レジメンは4コース実施する。
・角結膜予防のため、AraC投与後、4回/日、リンデロン点眼する。
・G-CSFをDay6-12皮下注を行う。追加可。
・血小板が<3×10^{4}以下になったら、PC10を隔日輸注する。
・血球減少や好中球減少時の感染症については血液内科または薬局にコンサルトする。
・70～75歳以上の高齢者(GFR<60mL/min)は、MTX単独療法も検討。

主治医	薬剤師	薬剤師

2024/7/2

病棟・外来 化学療法ワークシート＜MTX大量療法＞ 第　　コース

Ⅰ．基本情報

患者ID
@PATIENTID
患者氏名
@PATIENTNAME
患者生年月日　　年齢
@PATIENTBIRTH3　@PATIENTAGEFORMATTED

MTX大量療法プロトコール(every 2 weeks)

	day1	・・・・・	day15
MTX(メソトレキセート)　3.5g/m^2	↓		next→ in

〈疾患名〉
□悪性リンパ腫の中枢神経系への浸潤

告　知　□あり　□なし

〈前コースの化学療法開始日〉
年　　月　　日

〈前コースの投与量〉
メソトレキセート
mg

Ⅱ．化学療法実施過程

＊投与日当日のチェック事項 （記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

	薬剤名	規格		数量	day1 ( )	day2 ( )	day3 ( )	day4 ( )
1:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
3:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン（持続点滴メイン：6時間）	20mL	X	2A				
4:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
7:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
9:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン（持続点滴メイン：6時間）	20mL	X	2A				
9:30	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ点滴ﾊﾞｯｸﾞ（持続点滴側管：0.5時間）	3mg/100mL	X	1B				
10:00	ダイアモックス	500mg	X	0.5V				
	生食（ワンショット静注側管）	20mL	X	1A				
10:00	メソトレキセート	1000mg/40mL	X	(　)V				
	メソトレキセート	200mg/8mL	X	(　)V				
	メソトレキセート	50mg/V	X	(　)V				
	メイロン	20mL	X	1A				
	生食（持続点滴側管：6時間）	500mL	X	1B				
10:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
13:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
15:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン（持続点滴メイン：6時間）	20mL	X	2A				
16:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
19:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
21:30	ソルデム3A	500mL	X	1B				
	メイロン（持続点滴メイン：6時間）	20mL	X	2A				
22:00	ロイコボリン（ワンショット静注側管）	3mg/1mL	X	5A				
22:00	ダイアモックス	500mg	X	0.5V				
	生食（ワンショット静注側管）	20mL	X	1A				

Ⅲ．化学療法剤投与量算出

＜MTX投与量＞

□　前コースと投与量同じ（2コース目以降のみ）
身長（　　cm）　体重（　　Kg）
体表面積（　　m^2）

MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）

＝ 3,500mg/m^2 × 体表面積（　　m^2）× （　　%）

＜備考欄＞
・本レジメンは原則最大3コース行う。
・尿をpH7以上に維持。尿量確保。
・MTX血中濃度のチェック(48時間値必要)
・血中濃度に応じて、ロイコボリンの投与量・投与間隔を変更する。
(MTX血中濃度危険限界値：48時間値　1X10^{-6}モル(1μM))
・メソトレキセート200mg・1000mgを250mL以上使用する際には、薬剤を入れるために希釈の生食を適宜破棄してよい。

主治医	薬剤師	薬剤師

＊ Dr. が二重線の枠内を記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

2024/7/2

病棟・外来

化学療法ワークシート＜R-MPV療法＞

第　　コース

Ⅰ．基本情報

患者ID
@PATIENTID
患者氏名
@PATIENTNAME
患者生年月日　　年齢
@PATIENTBIRTH3　@PATIENTAGEFORMATTED

R-MPV療法プロトコール（every 2 weeks）

	day1・2・・・・・8・・・・・・15	
Rituxan（リツキサン）375mg/m^2	↓	next
MTX（メソトレキセート）3500mg/m^2	↓	in→
VCR（オンコビン）1.4mg/m^2	↓	
PCZ（プロカルバジン）100mg/m^2/日	←→	

〈疾患名〉
□ 脳悪性リンパ腫
告　知　□ あり　□ なし

〈前コースの化学療法開始日〉　　年　　月　　日
〈前コースの投与量〉
リツキサン　mg　メソトレキセート　mg　オンコビン　mg　プロカルバジン　mg

Ⅱ．化学療法実施過程

＊投与日当日のチェック事項（記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する）

	薬剤名	規格		数量
1)	ボルタレン錠	25mg		2錠
	レスタミンコーワ錠	10mg		5錠
	（経口　リツキサン投与30分前）			
2)	生食	100mL	×	1B
	（ルート確保用）			
3)	リツキサン	500mg	X	(　　)V
	リツキサン	100mg	X	(　　)V
	生食	500mL	X	1B
	（持続点滴：投与速度注意）			
1:30	ソルデム3A	500mL	X	1B
	メイロン	20mL	X	4A
	（持続点滴メイン：8時間）			
4:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A
	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：0.25時間）			
9:00	イメンドカプセルセット			1セット
	（内服：メソトレキセート投与1時間前）			
9:30	ソルデム3A	500mL	X	1B
	メイロン	20mL	X	4A
	（持続点滴メイン：8時間）			
9:30	パロノセトロン点滴バッグ	0.75mg/50mL	X	1B
	（持続点滴側管：0.5時間）			
10:00	ダイアモックス	500mg	X	1V
	生食	20mL	X	1A
	（ ワンショット静注側管 ）			
10:00	メソトレキセート	1000mg/40mL	X	(　　)V
	メソトレキセート	200mg/8mL	X	(　　)V
	メソトレキセート	50mg/V	X	(　　)V
	メイロン	20mL	X	2A
	生食	500mL	X	1B
	（持続点滴側管：2時間）			
10:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A
	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：0.25時間）			
12:00	オンコビン	1mg/V	X	(　　)V
	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：10分）			
12:10	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：全開で　フラッシュ用）			
16:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A
	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：0.25時間）			
17:30	ソルデム3A	500mL	X	1B
	メイロン	20mL	X	4A
	（持続点滴メイン：8時間）			
22:00	ダイアモックス	500mg	X	1V
	生食	20mL	X	1A
	（ ワンショット静注側管 ）			
22:00	ロイコボリン	3mg/1mL	X	8A
	生食	50mL	X	1B
	（持続点滴側管：0.25時間）			

day1	day2	day3	day4	day5
(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	125mg	80mg	80mg	

＝リツキサン投与速度注意＝
初回（治療第1回目）投与速度
0-1時間　25mg（mL）/時間
1-2時間　100mg（mL）/時間
2時間以降 200mg（mL）/時間
2回目以降　100mg（mL）/時間で 投与 開始可

塩酸プロカルバジンCP50mg　×（　　CP）/日　　（分2～3で内服）
第2日～第8日（　　～　　）まで投薬　　※奇数コースのみ服用

Ⅲ．化学療法剤投与量算出

＜Rituxan・MTX・VCR・PCZ投与量＞
身長（　　cm）　体重（　　Kg）
体表面積（　　m^2）
Rituxan（リツキサン）投与量（　　mg/body）
=375mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
MTX（メソトレキセート）投与量（　　mg/body）
= 3500mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
VCR（オンコビン）投与量（　　mg/body）
=1.4mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）
PCZ（プロカルバジン）投与量（　　mg/body）
= 100mg/m^2×体表面積（　　m^2）×（　　%）

＊Dr. が二重線の枠内を記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

＜備考欄＞
・尿をpH7以上に維持。尿量確保。
・本レジメンは原則最大5コース。PRの場合2コースまで追加可で、計7コースまで可
・リツキサンの投与速度に注意（上記参照）　BP<100で速度下げる。BP<90で一時STOP。
・オンコビンは2mg/dayが上限
・VCRは血管外漏出で壊死をおこす。
・G-CSF（ジーラスタ）をday9に皮下注行う。
・メソトレキセート200mg・1000mgで250mL以上使用する際には、薬剤を入れるために希釈の生食を適宜破棄してよい。

主治医	薬剤師	薬剤師

2024/7/2